

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルぶらすMEBUKI		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12 (回答者数)	8
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動の充実	工作、音楽活動、運動、散歩、避難訓練などの活動のほかに、節分、ハロウィン、クリスマスなど季節に合わせた行事、保育参観などの活動を実施している。	活動内容は、毎年同じにならないよう工夫し、利用者の年齢や成長発達に合わせた工夫や設定を考えて計画していく。
2	利用者に対する支援の提供	保育士、理学療法士、看護師など、さまざまな専門職がチームを組んで、それぞれの専門性を活かし、子どもの障害や発達を多角的にサポートすることで、効果的な療育を提供できるよう取り組んでいる。	引き続き子ども達の経験の幅の広がりに繋がるよう、多職種による関わりにて必要な支援の提供が安全に行えるよう整備を図っていく。
3	保育所との交流機会	事業所内の子どもだけでは定員も少なく、子どもたちの関りは限られてしまうが、近隣の保育所の子どもたちとの関りを持つことで社会性やコミュニケーション能力を向上できるよう取り組んでいる。	保育所との連携を増やし、職員同士での見学の機会を作り繋がりを作ることで、保育交流の頻度や充実を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	子どもの活動等のスペースが足りない	お子さんの利用数が増えた中で、臥位で過ごすお子さんに対しては布団が必要だったり、呼吸器などの医療機器などがあるとスペースの確保が必要となってしまう。そのため活動のスペースが限られてしまう。	限られたスペースの中で活動的に動けるよう創意工夫行っていく。また静的にも子どもたちが楽しめる活動を支援していく。
2	保護者同士の連携について	保護者同士のコミュニケーションの機会を設けていたが、小規模であり頻度も多くはないため参加が難しかった。	保護者会活動の機会だけでなく保育参観の機会も作り、保護者同士でコミュニケーションを取れる機会を増やせるよう計画していく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルぶらすMEBUKI

公表日 2025年 5月 15日

利用児童数 2025年 4月 1日 12名

回収数

8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	8	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1	0	0		段差などバリアフリー化していないところもありますが、スペースを有効活用しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	0	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	0	0		近隣の保育所との保育交流の機会を頻度は少ないですが、行っております。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	1	0	0		ご家族様の目標とアセスメントシートを元に計画書を作成し同意をいただいております。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	1	0	0		事業所に入った研修やイベントの情報はご家族様に発信しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	8	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6	1	0	1		年に1度面談の機会を作り、お子さんの様子や課題や目標を確認し共通理解をさせていただいています
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	1	1	兄弟児の交流があると嬉しい。	保護者会活動の機会を作り、保護者同士のコミュニケーション機会を設けています。兄弟児の交流については今後検討いたします。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1	0	0		契約時に苦情などの相談窓口についてお伝えさせていただいております。また相談や申し立てについては迅速な対応を心がけております。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	8	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	8	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	8	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	0	0		事業所内で怪我等が生じた場合は、その状況とお子さんの様子、対応をお伝えさせていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	0	0	0	日々子どもの成長を感じることができています。	今後より良い支援を提供できるよう、職員一同励んで参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年 5月 15日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2	限られたスペースの中で、動的にも静的にも楽しめる活動を行っている	施設基準は満たしておりますが、スペースを有効に活用した活動を行っていく
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	利用人数に応じた配置をしている	利用の予定に合わせて必要な人員を配置していく
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	事業所が2階のためエレベーターを設置している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	季節に応じて居室内のレイアウトを変える工夫をしている	毎日の清掃、消毒、換気を行い、継続的に衛生環境を整えていく
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	物理的に空間を分けられるスペースを確保している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0		日々の振り返りを行い、問題や課題に対し改善に向けた取り組みを行っていく
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0		いただいた意見を集計しスタッフ間で共有と改善策を検討していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	スタッフ会議を行い、意見の集約を行っている	挙げられた意見に対し検討を行い、業務改善に努めていく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		第三者評価の機会が作れていない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	法人内研修の機会を設けている	外部研修の情報を共有していく
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		HP上に支援プログラムは公表されている
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	個別支援計画書作成前に現状のニーズや課題などを確認し、スタッフ間で共有している	個別支援計画書作成前に、計画書の遂行度、達成度を確認し、ニーズや課題を再確認していく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	個別支援計画書においては、スタッフ間においてモニタリングを行い作成を行っている	個別支援計画書はスタッフ間で共有し支援を行う
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	モニタリングを元にスタッフ間で個別支援計画書の内容を検討し共有している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		適応行動を評価するための標準化されたツールがない
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	活動に対してそれぞれの専門職の立場から意見を出し合う時間を作っている	保育士を中心に話し合いを行い、活動につなげていく
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	季節行事の内容が毎年同じにならないよう工夫している	以前に行った活動も継続的に行うか、発展させていくかお子さんの成長に合わせて活動を行っていく

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		個別活動と集団活動のバランスをとって支援を進めていく
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	前日の送迎後、送迎前ミーティング・話し合いの時間を作っている	前日又は朝の送迎後に確認していく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	その日にあった出来事や、改善点など情報共有をしている	継続して情報共有を行っていく
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	活動の記録は残しており、スタッフがいつでも共有できるようにしている	必要時は検討会議を行い改善に努めていく
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	半年に1度モニタリングを実施し、合わせて計画書の見直しを行っている	日々の様子や成長、課題については月ごとのスタッフ会議にて共有していく
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		担当者会議にはなるべく参加するよう心がけている
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	利用者の体調について困りごとがあれば、嘱託医への相談を行うようにしている	相談員を介して保育、教育等の関係機関と連携をとっていく
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	現在1か所保育所との連携を行っている	交流機会の継続をしていく
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	就学時には学校と利用児についての状況を共有している	就学前の担当者会議には参加するよう心がけている
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				連携については、今後検討していく
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	3	1		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	近隣の保育所との交流の機会を作っている	今後、交流の頻度を増やしていきたい
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	連絡帳でのやりとりや送迎時に一日の様子を伝えるだけでなく、お家での様子なども聴取する	知り得た状況や課題についてはスタッフ間で共有し共通理解に努めていく
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	研修やイベントの情報が入ったらご家族様に共有するようにしている	事業所に入った情報は継続して発信していく
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		契約時や内容変更時に保護者の方に説明し同意を得ていく
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	アセスメントシートや課題や目標について記載していただき、その意向に合わせて計画を立てている	障害児支援利用計画書に沿って計画を立案していく
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	個人面談の際に保護者に説明しており、面談が難しい場合は書面での確認を行っていく	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	送迎時やメール、電話にて気軽に問い合わせください	保護者さまより相談を受けた際は、スタッフ間で共有し対応策を考えお伝えしていく

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	年3回程度の保護者会活動や保育参観を通して保護者同士のコミュニケーション機会を作っている	きょうだい同士での交流機会は今後検討していきたい
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		相談の申入れがあった際は、スタッフ間で共有し改善点や対応策を検討しお伝えしていく
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	HP時やInstagramから普段の様子がうかがえるよう体制を準備している	施設での様子などはSNS等にて公開しご家族の方がみられるよう継続して更新していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	シュレッダーを設置し、名前の入ったものはシュレッダーにて処分している	個人情報については書庫に保管し、データの扱いには留意している
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	意思確認や思いを汲みとれるよう手段の選択を模索しながら支援をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		医療ケアが必要な児童の為、コロナ等もあり安全の為であったが、落ち着いている時期には今後検討していくことも検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		それぞれのマニュアルを作成し、その内容に沿って緊急時や災害時の訓練を実施している
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	毎月法人の会議にてBCPの内容について更新があるか確認している	BCP研修やBCP訓練を実施していく
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		契約時や対象となる利用児の情報があれば、スタッフ間で情報共有を行っていく
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	保護者からの聞き取りに沿って個別な対応をしている	アレルギーについては定期的に再確認をしていく
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		安全計画に基づいて、必要な訓練や研修を実施している
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	プール活動や屋外活動については、ご家族様には事前の周知と確認を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	スタッフ会議の中で、ヒヤリハット報告の機会を作っている	スタッフ会議の中で、改善に向けた取り組みを検討していく
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	毎年、市や県の虐待研修に参加しその内容をスタッフに伝達を行っている	虐待防止委員会を実施していく
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0		個別支援計画書には記載し、身体拘束が必要な場合は保護者さまに説明および同意を得ていく

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルぶらすMEBUKI		
○保護者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0 (回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年 4月 1日 ～ 2025年 4月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 5月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童なし	利用児童なし	利用児童なし
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童なし	利用児童なし	利用児童なし
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 スマイルぶらすMEBUKI

公表日 2025年 5月 15日

利用児童数 2025年 4月 1日 0名

回収数 0

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。						利用児童なし
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。						利用児童なし
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。						利用児童なし
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。						利用児童なし
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。						利用児童なし
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						利用児童なし
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。						利用児童なし
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。						利用児童なし
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。						利用児童なし
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。						利用児童なし
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。						利用児童なし
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。						利用児童なし
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。						利用児童なし
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。						利用児童なし
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。						利用児童なし
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。						利用児童なし
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。						利用児童なし
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。						利用児童なし
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。						利用児童なし

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。					利用児童なし
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。					利用児童なし
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。					利用児童なし
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。					利用児童なし
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。					利用児童なし
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。					利用児童なし
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。					利用児童なし
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。					利用児童なし
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。					利用児童なし
	29	事業所の支援に満足していますか。					利用児童なし

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルばらすMEBUKI					公表日 2025年 5月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3	1				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	3	1		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	1		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		